

♪究極のアコースティック！ ギターと声、その調和の愉しみ♪

ギターと声の邂逅



福田進一と望月哲也は2004年にJTアートホールで初共演、その後も津田ホール委嘱作品「悲歌集」の日本初演や再演の実現に力を合わせるなど、ジャンルと年齢の違いを超えてお互いの才能を認め合う仲です。これまで様々なアーティストとコラボレーションしてきた福田氏の幅広く奥行きのある表現力。近年その声にいつそうの透明感が加わり、和製ヴァンダーリッヒとでも言うべき望月哲也。ギターと声の邂逅が泉のようにほとばしり出る音楽を創造します。

最新アルバム「アランフェス協奏曲」 福田氏の知的なユーモアいっぱいのトークも秀逸。ギターと人間の声による究極のアコースティックと絶妙なる調和をご堪能下さい！！

＜ギターと声の邂逅＞ プログラム（案）

- ◆「カロ・ミオ・ベン」「オンブラ・マイ・フ」などのイタリア古典歌曲
- ◆「オー・ソレ・ミオ」「帰れソレントへ」などのカンツォーネ
- ◆「野ばら」「菩提樹」「ます」などのシューベルトによる歌曲
- ◆「この道」「初恋」などの日本歌曲
- ◆ブリテンなど20世紀の作品紹介
- ◇上記に加え福田氏のギター・ソロ曲も披露します。



ファーストアルバム「イル・ミオ・テソーロ」

福田進一（ふくだ しんいち）ギター

パリ・エコール・ノルマル音楽院を首席で卒業。1981年パリ国際ギターコンクール優勝。以後、内外の数多くのコンクールにて輝かしい賞歴を重ねる。演奏活動は国内外での精力的なソロ活動のほか、NHK交響楽団を始めとする全国の主要オーケストラとの協演も数多い。また、室内楽ではニコレ(FI)、ギトリス(Vn)、フェルナンデス(Guit)をはじめ、ジャズ・ギタリストの渡辺香津美など、ジャンルを超えた超一流の演奏家と共演。ギターの概念を塗り替えた斬新な音楽性と、常に新鮮な話題を提供するギター音楽の開拓者として、その活動が世界的に注目を集めている。ディスクグラフィーは多数におよび、最新アルバム「アランフェス協奏曲」(COGQ-25)がリリースされたばかり。

望月 哲也（もちづき てつや）テノール

東京芸術大学卒業。同大学大学院、二期会オペラスタジオ修了。第70回日本音楽コンクール第2位最近ではハンプルク州立歌劇場/東京二期会『皇帝テイトの慈悲』で主役を演じ、コンヴィチュニーの演出意図を見事に表現して満場の喝采を浴びた。その声質から宗教曲も得意とし、サヴァリッシュやアシュケナージとシューベルトの「ミサ曲」やモーツァルトの「レクイエム」で共演、好評を博した。07年2年連続で「NHKニューイヤーオペラコンサート」にも出演した。天性のリリックな美声と堅実な音楽性は若手の中でも群を抜く。06年10月に2枚めのCD「アマリツリ」をリリース。現在はウィーンに居を構え更なる研鑽を積む。二期会会員

● 出演料: お問い合わせください。
地方公演の場合、別途旅費・滞在費

◆お問合せ◆◇

株式会社ミリオコンサート協会
Tel: 03-3501-5638 Fax: 03-3501-5620

株式会社二期会21
Tel: 03-3796-4711 Fax: 03-3796-4710